

# ようこそ、柄尾美術館へ。

Welcome to Tochio art museum



長岡市柄尾美術館は、旧柄尾市制40周年を記念して、上杉謙信公ゆかりの柄尾城址を借景に市街地が一望できる高台の上に建てられた美術館です。周囲には秋葉神社と常安寺、また町中には雪国ならではの雁木が姿を残しています。豊かな自然と古くから受け継がれてきた文化、そして地域の人々の営みに支えられています。

長岡市立美術館  
（現・長岡市立美術館）



市民ギャラリー



エントランスホール

## 施設紹介

【展示室I・II】企画展と、ふるさとゆかりの作家の作品を中心とした美術館の所蔵品展などを開催しています。

【ギャラリー】窓から見える四季折々の庭園と自然光が美しい展示スペースです。作品展示・発表を目的に市民が無料で利用できます。

【アトリエ】制作等の目的により、市民が無料で利用できます。また年間を通じて各種講座やワークショップなどを開催しています。



展示室II

## 前庭でほっと一息

The front garden of an art museum

美術館の建つ通称七曲と呼ばれる高台を登ると、美術館の前庭が見えてきます。

お天気の良い日は、心地よいそよ風を感じながらひと休みしませんか。

柄尾城址と市街地の風景、四季折々の自然をお楽しみください。

回廊から見た前庭



美術館のもみじが色づく秋、眼前の鶴城山もいっそう鮮やかな紅葉に包まれます。雪囲いを終え、前庭も冬支度が整います。



謙信像としだれ桜  
平成7年の開館時、柄尾城址を背景に、颯爽とした騎乗姿の謙信像が建てられました。春にはしだれ桜に彩られます。



炉開き(写真は10月)  
ユキツバキと茶の自然交配種で、秋と春にちいさな桃色の花を咲かせます。

